■第１１回とっとり伝統芸能まつり

タイムテーブル

13:30～13:50 開会・主催者あいさつ
伝統芸能功労団体賞知事表彰（下蚊屋荒神神楽保存会明神社）

13:50～15:55 伝統芸能公演
- 13:50～14:05 / 打吹童子ばやし 鼓魂組曲
- 14:05～14:20 / 花がさおどり
- 14:20～14:40 / さいとりさし
- 14:40～15:00 / 麒麟獅子舞
- 15:00～15:20 / しゃんしゃん傘踊り・すずっこ踊り
- 15:20～15:55 / 下蚊屋荒神神楽 八重垣能

15:55～16:00 閉会

司会 べるを

地元メディアを中心にパーソナリティーやリポーター・コメンテーターなどを務める。
その他、イベントの司会、CM出演、ライター として執筆活動もこなす。

ライブ配信視聴の際にご用意いただくもの

- インターネットにつながったパソコンやタブレット、スマートフォン
- お好きなお飲み物・お菓子 など

観たい演目だけの視聴ももちろん可能だよ！

伝統芸能紹介（五十音順※知事表彰を除く）

下蚊屋荒神神楽 八重垣能

伝統芸能功労団体賞知事表彰

下蚊屋荒神神楽保存会明神社（江府町）

江戸時代末期に、下蚊屋集落と隣接する備中地方との交流の中で舞われ、下蚊屋集落に住む「木地師」によって神楽面が作られ、農閑期の伝統芸能として定着したものです。明治期に入り集落の青年層によって社中が結成された後、昭和7年（1932年）に保存会が組織され、近年は、春日大社への奉納や東京公演など年間を通して県内外で活動しています。昭和49年（1974年）鳥取県無形民俗文化財指定、平成5年（1993年）文部大臣賞受賞。

打吹童子ばやし 鼓魂組曲

打吹童子ばやし（倉吉市）

「天女は子の幸せを祈り、子は母を想い太鼓と笛を打ち鳴らす。」
打吹童子ばやしは、倉吉に伝わる「天女を想い二人の童子が太鼓と笛を奏でた」伝説を「心のふるさと」として、子ども達の笛太鼓で伝えていこうと平成4年（1992年）に誕生した団体で、現在、倉吉周辺の小学生25人で構成されています。
倉吉の夏祭り「打吹まつり」では、太鼓を乗せた山車が巡行し、「ワッショイ！」のかけ声で祭りの初日を盛り上げるほか、国内外における多数の舞台でも披露しています。

麒麟獅子舞

浦富麒麟獅子舞保存会（岩美町）

麒麟獅子舞は、鳥取藩初代藩主池田光仲が慶安3年（1650年）に勧請した日光東照宮の御神霊を祀る鳥取東照宮の祭礼行列に登場したことが始まりとされ、県東部全域に伝わり、現在も100ヶ所以上で舞われています。岩美町浦富の熊野神社の麒麟獅子舞は、享保年間（1716年）に始まった岡神社の神幸祭礼において、西暦の奇数年の「海の日」前日に披露されています。獅子頭には文化13年（1816年）に大工町（鳥取市）の佛師が製作したと記載されており、歴史あることがうかがえます。「日本海の風が生んだ絶景と秘境－幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地「因幡・但馬」」が令和元年（2019年）日本遺産に認定、また、「因幡・但馬の麒麟獅子舞」が令和2年（2020年）国重要無形民俗文化財に指定。

さいとりさし

三朝町さいとりさし踊り保存会（三朝町）

天下御免の鑑札を持つ「さいとりさし（※）」は、権力を笠に着て各地に出かけ、時には殺生禁断の神社仏閣の境内を荒らし回って鳥を捕っていました。こうした振る舞いに対して根強い反感を抱いた民衆が、さいとりさしが鳥を捕る様子を身振り手振りで狂言風に踊ったことが始まりと伝えられ、鳥を捕ることから転じて「嫁をとる」「福をとる」祝狂言として伝承されてきました。保存会は昭和17年（1942年）の設立以来保存伝承に励み、近年は三徳山炎の祭典などのイベントや三朝温泉「あったか廊」への出演など活発に活動しています。昭和49年（1974年）鳥取県無形民俗文化財指定。
※さいとりさし…漢字で「刺鳥刺」と書き、鷹狩に使う鷹の餌にする鳥を捕ることを仕事とした者の職名

しゃんしゃん傘踊り・すずっこ踊り

桜道里（鳥取市）

しゃんしゃん傘踊りは「因幡の傘踊り」を誰でも踊れるよう大衆化された芸能で、鳥取しゃんしゃん祭において多くの市民に親しまれています。また、竈広のしゃもじのような板に6つの鈴を取り付けた楽器を両手に持つすずっこ踊りは誰でも気楽に祭りに参加してもらえるようにと近年新たに導入された踊りです。桜道里は毎年、しゃんしゃん祭りにおいて、傘踊りとすずっこ踊りの両方を披露し、子どもから大人まで地元の祭りを楽しめるよう盛り上げているほか、年間を通して様々なイベントで踊りを披露しています。

花がさおどり

河崎花がさおどり保存会（米子市）

昭和時代初期より盛んになった、3つの種類の盆踊り「茶町」「神戸（かんど）」「関の五本松」に花笠を取り入れた河崎地区における独自の踊りです。太平洋戦争時に一時期衰退し「幻の踊り」と言われましたが、昭和40年代に有志により復活しました。現在、地区イベントや境港へ寄港する外国船の送迎行事における披露や福祉施設への慰問など様々な活動をしています。花笠のくるくると回った時の美しさや、思わず手拍子を打ちたくなるようなにぎやかさが見どころの伝統芸能です。

古典芸能体験事業 梨花薪能

・屋外同日開催
・入場無料！（要入場整理券）

整理券取扱い
とりぎん文化会館、倉吉未来中心、アルテプラザ（米子天満屋4F）、鳥取県文化振興財団インターネット・チケットサービス

公演サイトはコチラ

※入場整理券の配布は予定枚数に達し次第、終了いたします。

時間・演目

第一部 15：30開演
鳥取喜多流連合会
鳥取宝生会、鳥取観世会
鳥取松響会による連吟、舞囃子

第二部 18：00開演
梨花薪能
●解説／林宗一郎 ●大蔵流狂言 寝音曲（ねおんぎょく）／茂山忠三郎 ほか
●観世流能 小鍛冶（こかじ） 白頭（はくとう）／林宗一郎 ほか

会場
とりぎん文化会館
中庭 特設能舞台

雨天の場合はとりぎん文化会館プリーズペースに会場を変更します

かがり火の炎に照らし出された舞台、夏の夜空に響く謡や鼓の音色。幻想的な雰囲気の中で能・狂言を上演する「薪能」が長らく開催されていないこの鳥取の地によみがえります。屋外の開放的な空間で、格式ある舞台を気軽に楽しむことができ初心者の方にもお楽しみいただけます。夏のさわやかな夕暮れのひととき、あなたを幽玄の世界へいざないます。

主催／（公財）鳥取県文化振興財団　共催／鳥取県能楽連合会　お問い合わせ／とりぎん文化会館 TEL：0857-21-8707

■第６４回鳥取県美術展覧会

令和2年9月19日（土）開幕 入場無料 会期中無休

鳥取県立博物館	9月19日（土）～ 9月27日（日） 9時～17時	ギャラリートーク：9月19日（土）10時40分～正午
米子市美術館	10月 3日（土）～10月12日（月）10時～18時	ギャラリートーク：10月3日（土）10時～正午
日南町美術館（選抜展）	10月16日（金）～10月25日（日） 8時30分～17時	ギャラリートーク：10月24日（土）10時～正午
倉吉博物館・倉吉歴史民俗資料館	［前期］11月 7日（土）～11月13日（金） 9時～17時 洋画・版画・彫刻・写真	ギャラリートーク：11月7日（土）11時～正午
	［後期］11月17日（火）～11月23日（月・祝） 9時～17時 日本画・彫刻・工芸・書道・デザイン	ギャラリートーク：11月21日（土）11時～正午

※作品を出品される方は、令和2年9月6日（日）10時から16時までに鳥取県立博物館、倉吉博物館、鳥取県立武道館のいずれかの会場にご持参ください。
なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため部門ごとに作品搬入（受付）時間の指定をしています。詳しくは開催要項をご確認ください。
※審査は公開しています。見学には事前申込みが必要です。詳しくは開催要項をご確認ください。
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、審査の見学、展覧会及びギャラリートークを中止する場合があります。

●主催：鳥取県、鳥取県教育委員会、新日本海新聞社 ●共催：米子市美術館、倉吉博物館、日南町美術館 ●運営委託先：日本通運株式会社山陰支店
●第18回鳥取県総合芸術文化祭・とりアート2020主催事業 ●「とっとり県民の日」関連事業・とっとり県民カレッジ連携講座
●問い合わせ：鳥取県地域づくり推進部文化政策課（電話：0857-26-7134）
※詳しくは、開催要項または文化政策課 ホームページ https://www.pref.tottori.lg.jp/kenten/をご確認ください。
※開催要項及び出品申込書等の様式は文化政策課 ホームページからダウンロードできます。

交通アクセス

鳥取県立博物館

住所：鳥取市東町二丁目１２４
電話：0857-26-8042　FAX：0857-26-8041
【アクセス】
ＪＲ鳥取駅からバスで
●砂丘・湖山・賀露方面行
⇒「西町」下車 約 400m
●市内回り岩倉・中河原方面行
⇒「わらべ館前」下車 約 600m
●鳥取市100円循環バス「くる梨(くるり)」緑コース
⇒「仁風閣・県立博物館」下車 約 100m

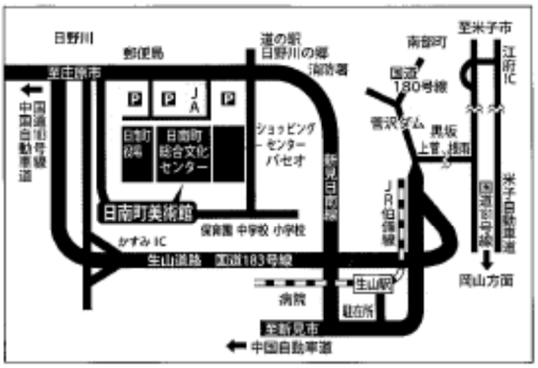
倉吉博物館・倉吉歴史民俗資料館

住所：倉吉市仲ノ町３４４５－８
電話：0858-22-4409　FAX：0858-22-4415
【アクセス】
ＪＲ倉吉駅からバス（２番のりば）で
●市内線、関金線など
⇒「赤瓦・白壁土蔵」下車 約 500m
●広瀬線（市役所・みどり町経由）、倉吉バークスクエア線
⇒「市役所・打吹公園入口」下車 約 200m

米子市美術館

住所：米子市中町１２
電話：0859-34-2424　FAX：0859-33-0679
【アクセス】
●ＪＲをご利用の方
ＪＲ米子駅から約１㎞（徒歩約 15 分）
●バスをご利用の方
米子駅前バスターミナルから各方面行きの
バスで「市役所前」下車
●車で来館される方は市役所有料駐車場をご利用ください。
受付にて２時間以内無料の処理をします。

日南町美術館



住所：日野郡日南町霞７８５
電話：0859-77-1113　FAX：0859-77-1115
【アクセス】
●ＪＲをご利用の方
ＪＲ生山(しょうやま)駅から約2.5㎞・バス・タクシー有り
●自家用車をご利用の方
中国自動車道「庄原ＩＣ」から約１時間
中国自動車道「新見ＩＣ」から約 30 分
米子自動車道「江府ＩＣ」から約 30 分
米子市内から約 50 分

鳥取県の文化芸術情報を発信中！

Facebook
アートピアとっとり

Twitter
アートピアとっとり

■第２回万葉の郷とっとりけん全国高校生短歌大会

第2回 万葉の郷とっとりけん 全国高校生短歌大会

二人の万葉歌人が国司として赴任した地、鳥取県。

一人は「令和」の出典となった梅花の宴の場にいた山上憶良、もう一人は万葉集最後の歌を詠んだ大伴家持である。
万葉集ゆかりの地である鳥取県で、万葉衣装に身を包んで自由なパフォーマンスで短歌を詠んでみよう！

まずはエントリー！

其の一 3名1チームを編成（男女混合・複数校での編成OK）

其の二 短歌を1人一首創作（未発表の本人創作短歌）
題：先鋒「光」 中堅「家」 大将「宵」
※必ず示された題（漢字）そのものを短歌に詠み込んでください。
※辞書に掲載されている読み方及び熟語の一部として使用できます。

対象：全国の高校生

其の三 WEBフォーム、Eメール又は郵送で申込み or
締切：令和2年9月30日㈬まで（郵送：当日消印有効 電子メール・申込フォーム：9月30日㈬午後11時59分まで）

其の四 予選審査（10月下旬から11月上旬までに大会出場8チームをホームページにて公表）
※審査員が審査を行い、短歌大会本選へ出場するチーム及び入選作品を決定します。

其の五 短歌大会本選開催
11月上旬時点での新型コロナウイルス感染症の状況により当日参集による開催が困難と主催者が判断した場合は、動画審査等による開催とする場合があります。

どなたでも観戦OK!* 予約不要 無料
*状況により観客制限を設ける場合がございます。

いよいよ本選出場！

日　時：令和2年12月13日㈰
【本　選】午前10時から午後0時15分まで
【表彰式】午後0時15分から0時半まで ※表彰式のあとに交流会開催予定（参加無料）

会　場：米子コンベンションセンターBIGSHIP 国際会議室（鳥取県米子市末広町294）

審査員：

大辻隆弘氏
歌人
「未来」選者
現代歌人協会会員
現代歌人集会理事

穂村　弘氏
歌人
歌誌「かばん」所属
日経新聞歌壇選者

江戸　雪氏
歌人
「塔」短歌会選者

対戦方法：作者による短歌の発表後、審査員との質疑応答を行う。先鋒、中堅、大将戦。各チームは万葉衣装に身を包み、朗唱など自由なパフォーマンスで作品を発表し、トーナメント方式の団体戦を行う。（準々決勝4試合、準決勝2試合及び決勝の合計7試合）

表　彰：優勝、準優勝、第3位（2チーム）、パフォーマンス特別賞（2チーム）、審査員特別賞（3名）（大辻隆弘賞、穂村 弘賞、江戸 雪賞）

交 通 費：参加チームには交通費・宿泊費上限150,000円/チーム、審査員特別賞受賞者には上限50,000円/名を支給

応募・問合せ先

鳥取県地域づくり推進部文化政策課　〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220　TEL. 0857-26-7134　FAX. 0857-26-8108
E-mail bunsei@pref.tottori.lg.jp　WEB https://www.pref.tottori.lg.jp/bunkaseisaku/　鳥取県文化政策課

Facebook アートピアとっとり　Twitter @artpiatottori

鳥取県内の文化芸術情報を発信中！

主催：鳥取県
後援：鳥取市 倉吉市 米子市 境港市 岩美町 八頭町 若桜町 智頭町 湯梨浜町 三朝町 北栄町 琴浦町 日吉津村 大山町 南部町 伯耆町 日南町 日野町 江府町 鳥取県教育委員会 鳥取県高等学校文化連盟 鳥取県歌人会 朝日新聞鳥取総局 共同通信社鳥取支局 山陰中央新報社 産経新聞社（株）新日本海新聞社 時事通信社鳥取支局 中国新聞鳥取支局 毎日新聞鳥取支局 読売新聞鳥取支局 NHK鳥取放送局 TSKさんいん中央テレビ テレビ朝日鳥取支局 日本海テレビ BSS山陰放送 いなばびょんびょんネット ㈱中海テレビ放送 日本海ケーブルネットワーク 鳥取中央有線放送㈱

beyond 2020

■第６回合同公演ミュージカル「オズの魔法使い」

◆◆◆作品紹介◆◆◆

『オズの魔法使い』は、米作家ライマン・フランク・ボームの手によって今から約130年前に作られた物語で、今も世界中の子供たちにもっとも愛される作品の一つです。今回は原作にアレンジを加え、より多くの皆様に楽しんでいただけるようミュージカル劇団ゆめならではのオリジナリティー溢れる作品に仕上げました。

皆さんが知っている『オズの魔法使い』の物語の中に出てくるそれぞれが欲しいもの。
それはドロシー自身が欲しかったもの、又は著者自身が欲しかったのかもしれません。

ドロシーの冒険を通して、著者が何よりも一番伝えたかったであろう『願う思い』と『考える力』、
そして『諦めない気持ち』。
本当の『勇気』と『優しさ』を見つけていく姿に、目には見えないけど欲しかったものは『ここ』に在るんだと気づかせてくれる物語です。

子供の皆さんがきっと見つける、大人になっても忘れないでほしい『道』
大人になった皆さんにも思い出してほしい自分の『道』
誰もが持っているあなただけの道。
それは願いに続く道。きっと幸せに繋がる道。

『オズの魔法使い』作品に込められた思いを少しでも皆さんに届くことを願って……

ミュージカル劇団ゆめ　団長　吉田奈美子

稽古風景

コロナ禍の稽古について

団員一丸となって感染対策を行っています。

稽古場は紫外線照射とオゾン殺菌。
マスク、着衣、持ち物全てに紫外線照射。
入場前の検温。
10人以上の密にならないよう徹底。
全体の通し稽古は2時間以内。
1時間毎に換気。

なんとしても公演を成功させる!
今回の公演に対する団員の思いは、今までにないほどの熱を帯びています。

Cast & Production team

塚田咲月	門脇留美子	徳永咲姫	石原あかり
谷野遥香	谷野研介	田中伊織	坂田夕那子
大田信之助	原　百花	田中日菜	門脇美和
石原正章	山本梨恵	清山　葵	坂野　圭（友情出演）
吉田圭太	高崎優奈	山本知笑	徳岡義弘
西村史佳	中田真央	安藤都貴江	（垂野町民ミュージカル　友情出演）
西村幸恵	石原さや	岡田陽葵	

脚本・演出	吉田奈美子
作曲・編曲	高平真生（グッドサウンド）
作詞	吉田奈美子
振付師	クラリン・うさこ

公演当日は下記の新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施いたします。何卒ご協力をお願い申し上げます。

◆マスク着用　◆手指消毒　◆紫外線照射　◆検温　◆座席を空ける　発熱がある方、その他風邪の症状がある方の来場はお控えください。
またチケットには必ず、氏名＆住所＆連絡先の記載が必要となります。無記載の方にはご入場していただけませんのでご注意ください。
やむを得ず公演が延期になった場合の振替公演は2021年6月5日(土)・6日(日)となっております。その場合、今回ご購入いただいたチケットは、そのまま有効となりご観覧いただけますので大切に保管してください。　ご購入いただいたチケットの払い戻しは受付出来ない事をご了承下さい。

HPは
こちらから!

ミュージカル劇団ゆめの
最新情報はWEBで！　ミュージカル　ゆめ　https://musicalyume.jimdofree.com/

令和２年度鳥取県文化芸術事業評価報告書

≪資料編≫

令和３年９月

〒６８０－８５７０
鳥取市東町一丁目２２０番地
鳥取県文化芸術事業評価委員会（事務局：鳥取県地域づくり推進部文化政策課内）
電　　話：０８５７－２６－７８３９
ファクシミリ：０８５７－２６－８１０８